

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成二十四年三月十二日

広島県知事 湯 崎 英 彦

### 広島県規則第十一号

#### 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の一部を改正する規則

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則（昭和四十一年広島県規則第三十号）の一部を次のように改正する。

第七条第一項中「法第七条第四項（法第十二条第六項及び法第十四条第四項において準用する場合を含む。）又は」を削る。

別記様式第一号中

「 11 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。

」を

「 11 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

」に

改める。

別記様式第四号（表面）中 「広島県収入証紙 ちよう付欄」 を 「広島県収入証紙 貼付欄」 に

「 許可年月日  
」

を

「 交付年月日  
」

に改め、

同様式（裏面）中

「 (3) 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律又は同法に基づき命令の規定に違反して罰金以上の刑に処せられたことの有無（有無のいずれかに○印を付し、かつ、有の場合にはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることになつた年月日を記載すること。） 」を

「 (3) 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律又は同法の規定に基づき命令の規定に違反して罰金以上の刑に処せられたことの有無（有無のいずれかに○印を付し、かつ、有の場合にはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることになつた年月日を記載すること。） 」に

「 1 文字はかい書で明りように記載すること。 」を

「 1 文字は楷書で明瞭に記載すること。 」に

「 注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。 」を

「 注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。改める。 」に

「 許可年月日  
」

を

「 交付年月日  
」

に改め、

別記様式第五号（表面）中 「広島県収入証紙 ちよう付欄」 を 「広島県収入証紙 貼付欄」 に

同様式（裏面） 中

<input type="checkbox"/> 網・わな猟免許	知事	号	年	月	日
----------------------------------	----	---	---	---	---

を

<input type="checkbox"/> 網猟免許	知事	号	年	月	日
<input type="checkbox"/> わな猟免許	知事	号	年	月	日

に

「 1 文字はかい書で明りように記載すること。」

「 1 文字は楷書で明瞭に記載すること。」

「 注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。」

「 注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。  
改める。」

別記様式第六号を次のように改める。

様式第6号 (第4条関係)

(表面)

※登録番号		※登録番号	
※狩猟免許		※狩猟免許	
※損害の賠償		※損害の賠償	
※放鳥獣猟区の区域の登録の有無		※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
※対象鳥獣捕獲員であるかの否かの別		※対象鳥獣捕獲員であるかの否かの別	

狩猟者登録申請書

写真

ふりがな		平成 年 月 日	写真
氏名			(3.0cm×2.4cm)
生年月日	(千 ) 年 月 日		
住所		電話番号 ( )	

次のとおり狩猟者登録を受けたいので、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第56条の規定により申請します。  
 (1) 狩猟者登録を受けようとする狩猟免許の種類 (□にシ印を付す。), 使用する猟具の種類 (番号に○印を付す。), 免許を  
 与えた都道府県知事名, 交付年月日及び狩猟免許の番号, 所持する免許の種類 (□にシ印を付す。第2種銃猟免許に係る  
 登録の場合に限る。)を記入。  
 なお、第1種銃猟免許を受けた者が空気銃のみを使用する場合は、第2種銃猟免許に係る登録を申請すること (「第2  
 種銃猟免許に係る登録」の□にシ印を付す。)

□網猟免許に係る登録	1 網	交付年月日	
□わな猟免許に係る登録	2 わな	年 月 日	
□第1種銃猟免許に係る登録	3 ライフル銃	都道府県知事名	知事
	4 散弾銃		
	5 空気銃 (圧縮ガスを使用するものを含む)		
□第2種銃猟免許に係る登録	6 空気銃 (圧縮ガスを使用するものを含む)	所持する免許の種類	□第1種銃猟免許 □第2種銃猟免許

(2) 狩猟をしようとする場所 (番号に○印を付す。)

1 県の区域全部	2 放鳥獣猟区の区域
----------	------------

(3) 対象鳥獣捕獲員であるかの否かの別 (対象鳥獣捕獲員である場合は□にシ印を付し、かつ、対象鳥獣捕獲員として所属している市町の名称を記載すること。)

□ 対象鳥獣捕獲員	対象鳥獣捕獲員として所属する市町名
□ 対象鳥獣捕獲員でない	( )

(4) 免許の効力の停止の有無 (有無のいずれかに○印を付し、かつ、有の場合には、その停止の期間を記載すること。)

免許の効力の停止の有無	1 有	2 無	停止の期間	年 月 日から	年 月 日まで
-------------	-----	-----	-------	---------	---------

(5) 猟銃・空気銃所持許可証番号及び交付年月日 (第1種銃猟免許又は第2種銃猟免許の場合)

猟銃・空気銃所持許可証番号	号	交付年月日	年 月 日
---------------	---	-------	-------

(広島県収入証紙貼付欄)

(裏面)

(6) 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条の要件に関する事項				
	法人名	対象損害	給付額	被共済の期間
共済事業				
損害保険契約	保険会社名	対象損害	保険金額	被保険期間
資産保有				
(7) 職業 ( )				
1. 専門的・技術的職業従事者      2. 管理的職業従事者      3. 事務従事者				
4. 販売従事者      5. 農林業従事者      6. 漁業従事者      7. 採鉱・採石作業者				
8. 運輸・通信従事者      9. 技能工・生産工程作業者      10. 単純労働者				
11. 保安職業従事者      12. サービスマン職業従事者      13. 分類不能の職業				
14. 無職				
記載上の注意事項 1 狩猟者登録を受けようとする狩猟免許の種類ごとに申請書を提出すること。 2 文字は、楷書で明瞭に記載すること。 3 (2)は、該当番号を○で囲むこと。 4 (3)は、該当事項の□にシ印を付し、対象鳥獣捕獲員である場合は所属市町名を記載すること。 5 (7)は、職業を具体的に記載し、さらに職業分類の該当番号を○で囲むこと。 6 ※印欄には、申請者は記載しないこと。				

注 様式の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。

別記様式第七号中

- 「 四 自己の行為の是非を判断し、又はその判断に従って行動する能力がなく、又は著しく低い者 (前3号に該当するものを除く。)
- 」を
- 「 四 自己の行為の是非を判断し、又はその判断に従って行動する能力がなく、又は著しく低い者 (前3号に該当する者を除く。)
- 」に
- 改める。
- 別記様式第八号中 「広島県収入証紙 を 「広島県収入証紙 ちよう付欄」 に
- 」を
- 「 3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。 」を
- 「 3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。 」に
- 改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成二十四年四月一日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前の鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の様式で行っている申請その他の手続は、改正後の鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の様式で行われた申請その他の手続とみなす。